

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	児童の共有ドライブを全学級で作成した。それによって、児童の作成したデータを共有したり教師が一括してみることで、交流や評価を行いやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	・クラスルームを使用して、英語や国語のスピーチや音楽のリコーダーの動画を課題として提出させることで、個別の評価に大変役立った。 ・学校行事などの動画をクラスルームにアップして、PC端末を家に持った時に保護者に見せることをした。コロナ禍で学校行事が公開できない中、保護者に学校の様子を伝えることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	学校全体で、ICTの活用方法を授業前に検討し、授業で実践、授業後の整理会でよりよい活用方法を共有した。それによって、子どもたちが考えを出し合い、よりよいものにしていく授業の展開がすぐできるようになり、深い学びにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	授業整理会や各学期のGIGA振り返りを、ジャムボードで行うことで、効率的に会を進めたり意見を集めたりできた。また、先生方の技能向上にもつながり、各学年でジャムボードを授業で使うことに繋がった。
小学校・義務教育学校（前期）	研究授業の整理会をジャムボードを使い行った。授業の良かった点・改善点などが色分けして共有できたり、板書を写真に取りジャムボードの背景に設定したりしたことで整理会が円滑に進んだ。また、紙の削減、模造紙を作る手間などが省けて業務改善にも繋がった。
小学校・義務教育学校（前期）	毎週木曜日の朝に、ミライシードを活用して個別学習している。このことで、個々の習熟度に合わせた学習ができています。また、学習活動の課題や成果物をクラスルームで配布回収することを進めている。
小学校・義務教育学校（前期）	研究授業の整理会をジャムボードで行っている。授業の視点に沿ってたくさんの意見を集約し、研究授業の振り返りを充実させることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	・研究授業の授業整理会をジャムボードを使って行ったことにより、意見が整理しやすく、交流がしやすくなった。 ・保護者アンケートをフォームで行うことで、集計しなくてもより負担が減った。 ・教科書の図を資料としてクラスルームに提示したことで、手元に資料がある状態でスムーズに授業を勧められた。 ・朝学習や授業終わりなどにミライシードを取り入れることで、基礎基本の定着をはかれた。 ・単元末の自己評価や振り返りをスプレッドシートに入力した。そのことで、児童が自分の成長に気づくことができたり、教師が児童の評価を行いやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	全校児童や教職員のクラスルームを作り、アンケートや行事の振り返り、また授業実践を共有することができた。それによって、考えを共有化できたり、実践を積み上げたりすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	全校用のアンケートクラスの活用。国語の授業や委員会で手軽に聞き取りが行えた。
小学校・義務教育学校（前期）	2週間に1度、家庭に端末を持ち帰り、クラスルームを通して課題を出している。それによって、児童が自宅からでもオンライン学習できる実感を得られた。児童とともに教員のオンライン学習に臨む抵抗感を減らすことにも繋がっている。
小学校・義務教育学校（前期）	・先生一人一台 ipad・教室に大型テレビ・AppleTV→その場で取った写真をすぐに児童と共有できた。導入や発表、説明などで活用。 ・ドロップボックス(データ共有アプリ)→毎年集会で行っていた冬休みの決まりなどのスライドをデータ共有することで、教室で同じように指導できた。 ・1日2時間の使用を目標→タブレット活用の意識づけ ・会議の資料を先生方だけのクラスルームで共有→ペーパーレス、すぐに見直せる
小学校・義務教育学校（前期）	ローマ字や県名を覚えるためにソフトを活用したことです。
小学校・義務教育学校（前期）	・ジャムボードなどのツールを使った実践を校内で報告しあったことで、校内での実践が増えた。実践が広がることで、児童が活用する場面が増え、児童の活用スキルが向上した。 ・健康観察をフォームで行うことで、時間短縮に繋がった。 ・タイピング練習を全校で行うことで、スライドやフォームのできる作業のスピードが上がり、ツールをより活用することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	クラスルームを用いて、資料を提示したり子どもたちの考えや作品を共有した。それにより活動に取り組みにくい児童も取り組むことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	授業整理会でグループ間の情報共有がスムーズにできた。
小学校・義務教育学校（前期）	月1回の授業交流を行うことで各学年でどんなことを行っているか共通確認することができた。基礎学力の定着をはかるために帯タイムにAIドリルを行った。
小学校・義務教育学校（前期）	研究授業の模擬の時に、ICTを活用できないか全体で考え、共有した。研究授業の時には、全員がタブレットを使った学習を行うようにした。
小学校・義務教育学校（前期）	朝自習の時間にタブレット使用に日を設けた。それによって、授業内ではなかなか取り組めないタイピング練習やAIドリルの活用に取り組むことができ、児童の活用技能が向上した。
小学校・義務教育学校（前期）	・プログラミングの基礎を学ぶためのサイトを共有して、学年全員で行った。 ・道徳の板書写真をとり、若手に伝えた。 ・総合的な学習の時間で、お米の学習のまとめを作り、「収穫祭」で活用した。
小学校・義務教育学校（前期）	学年ごとに実践したことを紹介しあうことで他学年でも活用できる方法を模索し、指導の幅を広げることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	ICT活用実践について毎月記録をしていて、職員室でも実践内容についてコミュニケーションをとっている。 児童の机の中にタブレットを入れる場所を確保しておいて、朝学校に来たらログインしておくことで、授業ではすぐに活用することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	隙間の時間にタイピングやプログラミングに取り組むことで、ローマ字入力やプログラミング的思考の基礎が身につけている。

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	提出物のデータ提出。欠席児童に対するオンライン授業。タイピング活動。
小学校・義務教育学校（前期）	・毎週「タブレット持ち帰りの日」を設定したこと。 ・研究授業でタブレットを活用したことで、効果的な活用場面を全体で共有することができた。 ・委員会やクラブ活動でタブレットを活用したこと。
小学校・義務教育学校（前期）	数分で終わるミニ研修を適宜取り、効率的なパソコンの操作方法などを実施した。
小学校・義務教育学校（前期）	タイピング月間を作ることで、児童のスキルの向上やログイン等がスムーズになった。
小学校・義務教育学校（前期）	校内で「タブレット週間」を設け、朝自習の時間に全学年でタイピング練習を行った。楽しみながらタイピング練習を行うことを通して、普段の調べ学習や、ローマ字入力が必要な場面で、タイピングへの慣れ親しみが見られた。
小学校・義務教育学校（前期）	帯時間を使って各学年の習熟度に合わせたタイピング練習を行った。それにより、調べ学習や、まとめる活動がスムーズになった。
小学校・義務教育学校（前期）	・全校共通で、引き出しの右側にタブレットを保管することとし、使いたいときにすぐに使える環境を設定できた。（使う頻度も上がり、活用場面が増えた）
小学校・義務教育学校（前期）	火曜日の帯タイムでタブレットを使うことを全校で定めており、それぞれの学年に合った内容の実践が行われている。それによって学年の実態に応じた力を継続的につけていくことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	個人研修の授業公開では、授業担当者がGIGAタブレットPCの活用場面を公開し、活用実践を蓄積することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	タイピングを週に一回朝学習で取り入れたことで、かなりタイピングスキルが上がった。タブレットを使いやすくするため、机の中など使用環境を整えた。
小学校・義務教育学校（前期）	投影によるノート指導。紙媒体で配布していた資料を配布機能を使って配布。作品を写真でとりフォルダに保存。
小学校・義務教育学校（前期）	タブレット置き場の整理整頓。すぐ使えるように場の設定をしたことで各教員に使ってみようという思いが芽生え、タブレットを使った授業も行えるようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	国語科を中心に学校全体で各学年に応じたICTを活用する研究授業を行い、成果と課題をまとめた。 リモート授業練習を3回、全校児童対象に行った。（1年生は校内で練習し、2年生以上は自宅での練習ができた。）職員も児童も捜査に慣れることができ、スキルが高まった。 教師から児童への伝達をICTを使って行った。教師間の連絡をICTを使って行った。
小学校・義務教育学校（前期）	毎週実践報告を行い、それを受けて各クラスで取り組んでいる。
小学校・義務教育学校（前期）	子どもたち同士で考えを伝え合う場面において、どの教科でもほとんどジャムボードを通じて行わせた。気軽に話を聞けることや、離れていてもふせん等を通じて意見を交流することが容易になった。
小学校・義務教育学校（前期）	週2回の職員打ち合わせの際に、5～10分程度で実践紹介を学年持ち回りで行ったこと。
小学校・義務教育学校（前期）	校内研修の際にスキャンしたノートのデータ等を教員間で共有し、検証することによりノート指導の見直しをもつことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	学校全体で帯タイムの時間を使い、ドリルパーク（国語や算数などのドリル機能の入ったアプリ）を、時間制限を設けるなど、各学年の実態に合わせて取り組むことを行った。中央検定という形で、各学年の達成状況を全校生徒で確認できる掲示板を学校内に設け、それぞれがどれくらい目標を達成できているかを可視化し、教職員、児童ともに共有した。
小学校・義務教育学校（前期）	全校クラスルームを作成し、全校に関わるアンケートなどは一括して配信することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	研究への取り組みの振り返りをクロームブックを用いて実施した。入力・集計が手軽にでき、校務をする時間の短縮にもつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	放課後に活用方法を検討したこと
小学校・義務教育学校（前期）	授業実践を交流したことがよかった。自分の担当している学年や教科でも使えないかを話すきっかけとなった。
小学校・義務教育学校（前期）	各自が行った実践を共有することで、使ってみようと思えることが増えた。
小学校・義務教育学校（前期）	Teamsを使って、全校集会や職員会議を行うことで、感染対策を取りながら、リアルタイムで集会を行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	実践例（紹介）様式を作成し、終礼で実践報告をする時間を設けた。活用方法を知る機会が増えたので、さらに活用する教員が増えた。
小学校・義務教育学校（前期）	児童アンケートを一人一台端末で取り組むことで集計が簡単だった。
小学校・義務教育学校（前期）	使用するソフトを決めて授業実践を行う。 ⇒SKYMENUクラウドの発表ノートを使い、一人1回の授業実践を行った。 「授業でどのように生かせるか」考えることを経験できた。
小学校・義務教育学校（前期）	共有フォルダの活用。教員、児童ともに資料や写真などがいつでもすぐに使え、また、クラス間や学年間での共有も容易であった。
小学校・義務教育学校（前期）	研究授業や公開授業で、全クラスでICTを用いて学びを深める授業づくりを行った。授業後半の学びを深める場面で、1人1台端末に適用問題を教師から配付し思考することを甲虫実践した。単元のねらいを達成するために、積み重ねていくとよいスキルなどが教師間で情報共有できた。
小学校・義務教育学校（前期）	研究部会・生徒指導部会・特活部会の重点項目の達成状況を知るために、フォームズでアンケートを作成し、児童に回答させた。それにより、出来ている項目と出来ていない項目を素早く知ることができるとともに、児童自身にも意識付けを行うことができた。 授業ですぐに活用できそうなコンテンツ、文科や県からお知らせが届いた際、重要なものについてはリンクを貼って知らせるなど、校内のチームス活用につながるようになっている。

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	行事が減っている中で、クラス紹介動画を全クラス撮影し、昼の放送にしたこと。またその動画の静止画を校内掲示にし、行事として取り組めたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	Teamsを活用した児童集会、会議を行うことで、コロナ禍でも集会の実施ができた。
小学校・義務教育学校（前期）	集まって、会議ができないときに、teamsのOneNoteで意見交換をしたこと
小学校・義務教育学校（前期）	各学年で児童の実態に応じた使い方をし、単元末の成果物、まとめや各時間のふりかえり、授業内の深める場面など有効な場面で利用している。また教材として来年度も使えるように記録、データを残している。
小学校・義務教育学校（前期）	チームスを使ってオンラインで会議を行ったり、書類を共有したりした。それによって、オンライン授業を行う際に、スムーズに操作ができた。
小学校・義務教育学校（前期）	研究授業の事前研や整理会をリモート会議で行い、ホワイトボードの共同編集機能で付箋を用いてお互いの意見を共有した。それによって、授業の実践で活用するきっかけを作ることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	学校全体で「カメラ」のアイコンをタスクバーに貼りつけたことによって、児童はノートや作品などをすぐに撮影して共有したり、保存したりすることができたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	学校行事（チームズを使用 縦割り活動での各班の考えを共有した）
小学校・義務教育学校（前期）	毎週末端末を持ち帰り、主にeライブラリーによる課題に取り組ませた。それによって、各々のペースや習熟度に合わせて学習を振り返ることができた。また、通常の宿題と比べ、その場で正答の確認もできるため、自己評価や繰り返し学習につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	Teamsを使って児童の学習の様子を広げることにした。それによって、端末を使った実践の様子や効果がわかったり、実践のアドバイスや改善点が日常的に集められることができたりするようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	毎週木曜放課後に端末を使った報告会を行い、その中で学年に応じてできそうなことを試してみている。わからないことがあっても、1週間の短いサイクルの報告会なので「この間の、うまくいかなかった」など気軽に話し、次につなげることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	分掌部会でmeetを使うことで、話し合いが活発になったことと、教室にしながら会議ができたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> Googleクラスルームの課題配布機能を使うことによって、教科担任がどのクラスでも同じ資料を印刷せずとも配付できた。 長期休業中の課題にformをテストとして配布した。それによって、児童の回答を自動で集約したり、選択問題は自動で採点したりすることができた。 長期休業中にmeetを使って「オンライン登校日」を実施した。それによって、遠隔で児童の様子を確認できた。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>集団下校訓練において、スプレッドシートを活用して各町会の進捗状況を全体で確認することで、訓練がスムーズに実施することができた。</p> <p>保護者に個人懇談会の希望時間をオンラインで回答してもらい、学校評価のアンケートをGoogleFormsで児童・職員が回答することで集計の作業が省略でき、事務処理時間の縮小が得られた。</p> <p>特別教室の使用状況をGoogleカレンダーで管理することで各教室の空き状況が瞬時に確認でき、予定を立てやすくなった。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> 「富陽版ICT活用シート」（どの単元でどのようにICTを活用したか）を学年会で記入してもらった。記入したことで、効果があった実践と効果がなかった実践を学年で振り返ることができた。 児童の出欠確認をスプレッドシートの共同編集機能を使用して把握した。また、Googleサイトで職員専用のHPを作り、行事予定や職員会議の資料等を端末からいつでも閲覧できるようにした。その結果、様々な機能を知るきっかけとなり、授業での活用の幅も増えた。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>ドキュメント・スライドを共有機能を用いて、班で同時に資料を作成することができた。一度すると、児童がすぐに覚え「共有機能しないのですか」と提案するようになった。</p> <p>共有フォルダをすべてのクラスに作成することで、学習の学びを蓄積することができた。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	職員室内のホワイトボードに授業公開の情報を書き込めるコーナーを設置し、日常的に授業参観を行った。得意な先生をメンターとして、積極的に公開してもらった。活用が進むと、苦手な先生が、授業をするために、TTを募集するような使い方もできるようになっていった。また、2か月ごとの短期目標を設定・提示し、足並みをそろえて、段階的にスキルアップすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	全校集会をグーグルミートを使用して、分散型で行えたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> 児童が朝休みのうちに端末にログインして机の中に片付けておくことで、いつでもすぐに使える環境にした。 「全授業担当者が2日に1回は端末を活用した授業をする」という具体的な目標を設定した。
小学校・義務教育学校（前期）	3年生全体で、調べ学習でオクリンク機能を使って資料をまとめ、互いに発表した。相手に伝わるように色や画像等を工夫してプレゼンできるようになってきた。
小学校・義務教育学校（前期）	読んだ本の紹介をスライドを使って全校児童で行った。それによって、読書の意欲が高まった。
小学校・義務教育学校（前期）	職員室内でクラスルームを作り、情報の共有をより迅速にできるようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	生徒指導でいいところみつけを行い、客観的な自分の姿を知ることができたこと
小学校・義務教育学校（前期）	全体研では、各授業者が可能な範囲でタブレット端末を用いる場面を設定した。全員で実際に操作する場面を共有し、その効果について整理会で話し合うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	学校全体でクラスルームの掲示板を作成し、児童のデータを共有できるようにした。それによって、作成した動画などをどの学級でも視聴できるようになった。

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	それぞれが授業で行った活用方法を共有する。
小学校・義務教育学校（前期）	職員でのクラスルームを作成することで、ICTを使用した実践例や、使いやすいようなインターネットサイト、研究授業や研修の内容を貼り付けることで多くの職員が見ることができ環境を作った。
小学校・義務教育学校（前期）	すてきな授業を動画で撮って、クラスルームでどの先生方も共有して見られるようにした。さらに、その動画から発問のことや褒め言葉など視点をしばって研修会を行うこともできた。
小学校・義務教育学校（前期）	協働編集作業を活用した研修を行った。
小学校・義務教育学校（前期）	スマートスクールの実践動画を参考にした授業改善，研究授業でのICT活用の推進，児童のタイピング能力を高めるための帯タイムの活用
小学校・義務教育学校（前期）	タブレット端末を家庭に持ち帰り，ミライシードのドリルパークを宿題配信で取り組ませた。児童が自分ですぐに正誤を確認できること，担任が児童の取組状況をいつでも確認できることがよかった。
小学校・義務教育学校（前期）	体育科の学習で，児童同士に自分たちの運動の様子を撮影させ，上手く演技できる児童とそうでない児童の違いを話し合わせ，自分たちで見つけたポイントを中心に練習を行う授業を学校全体で取り組んだ結果，自分の動きを確認できたことで指導がしやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	校内研修におけるmeetの活用法の共有
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業には、ミーティングを用いて、密を避け、どこにいても参観することができるようになった。板書を写真に残し、授業整理会で活用することもできた。 ・集会では、ミーティングを用いることで全学年が教室にいながら参加することができた。 ・職員クラスルームを作成し、終礼時の伝達事項や共通理解すべきことを知らせることができた。 ・フォームを用いて児童アンケートや職員アンケートを作成し、クラスルームを使って回答してもらうことで、集計作業がすぐにできるようになった。 ・行事の動画を撮影し、クラスルームに投稿することで、児童の振り返りの際に役立った。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・職員用のクラスルームを用いて情報をやりとりすることができたこと。 ・研究授業の事後研をjam bordをもちいて行うことで、考えが見える化し、意見を統合、分類することが出来たこと。 ・校内のアンケートをformを用いて行うことで、集計しやすくなったこと。 ・ミーティングを用いて、オンライン授業やオンラインの健康観察ができたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	校内OJTの中で、どのような授業実践を行ったかを発表した。それによって、どのような時にどんな手法を取り入れることが有効かを考えることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	効果的だったICT活用方法や発問を、月に一回フォームで集め、先生たちと共有している。
小学校・義務教育学校（前期）	研究授業で必ずICTの活用を取り入れ、整理会で効果的であったか話し合う。
小学校・義務教育学校（前期）	毎研究全体会で当番を決め、スマートスクールネット石川にアップされた動画視聴報告と、今月のICT活用実践報告の時間を設定したことで、豊富な活用アイデアの共有とインプット・アウトプットを同時に行い、教員のICT活用意識が高まったこと。また、月に一度効果的なICT活用法を教室掲示したことで、児童が授業の中でのICT活用アイデアとその方法を掴むことができたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	月1回の相互授業参観で、ICTを活用した授業実践に取り組んだ。
小学校・義務教育学校（前期）	月1回学年のGIGA担当のミニ会議を開催し、そこで得た情報を学年部会で話し合ってもらうことで、他学年のよい実践を広げる機会となった
小学校・義務教育学校（前期）	効果的だったICT活用事例を報告する会を定期的に持っていること。
小学校・義務教育学校（前期）	アプリケーションの活用方法における研修では、児童用のアカウントで体験してもらった。児童用の目線に立つことができ、活用の仕方において新たな気づきや疑問を交流することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	校内研修でGIGA校内研修推進リーダーが指導者となって研修を行った。プログラミングについての内容や、ICTを活用した模擬授業を行ったり、公開授業を行ったりした。それによって各教員の指導力やICT活用に関する知識が深まり共通理解が進んだ。
小学校・義務教育学校（前期）	各種アンケートを作成する際は、Google formsを活用し、教職員全体に共有を図ることができた。集計もすぐに行え、業務改善につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	・週案にICTを利用したことを書き残すようにした。授業で積極的に使う意識が高まった。
小学校・義務教育学校（前期）	教科の見方・考え方を深めるためのICT活用場面について職員で考え、蓄積をした。それによって、自分の学年でも使えそうな場面を考えて実践することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	オクリンクやロイノートなどの集約機能を使うことで児童の見取りが容易になる。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習サイトなどを活用して、定期的な練習時間を設けることで、児童のスキルが上達してきている。 ・生き物や植物など学習に関係のあるものを写真で保存し、後で確認したり振り返ったりすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	道徳の時間にSKYMENUのポジショニング機能を使い、自分の立ち位置を明らかにすることで、児童が友達の原因を知りたいという思いになり、話し合う活動が活発になった。
小学校・義務教育学校（前期）	社会科で見てほしいページのURLをteamsの投稿メッセージに送信する。無駄なページを見せる事なく見せたい物にアクセスできた。
小学校・義務教育学校（前期）	避難訓練の説明動画や今月の歌のデータなどを共有データにしておくことにより、職員間での共有が安易になった。

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAチャレンジシートにタブレットを用いた実践例をまとめてもらい、それを先生方で共有することができた。 ・GIGAチャレンジシートの取り組みをすることで、先生方が意識的にタブレットを使う機会が増えた。 ・以上のように取り組むことで、先生方は、授業でタブレットを活用しようとする意識が高まってきており、ICTに対する抵抗感が無くなってきている。
小学校・義務教育学校（前期）	3年生以上の学年で、休み時間を通してタイピング練習に取り組むことで、文字を入力する速度が全体的に向上した。ベネッセのオクリンクというアプリを全校で利用し、個々が作成したシートをグループ内や全体で見合うことで、個々の端末でお互いの考えを把握できるようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	高学年がteams・formsを使って振り返りを行うことによって、振り返りを短い時間に入力・集約・共有できた。
小学校・義務教育学校（前期）	日々の実践を交流することで、高学年部会ではミライシード、formsを授業で活用できるレベル上がった。
小学校・義務教育学校（前期）	ミライシードのムーブノートやオクリンクを使って、自分の考えを見せることができるようになったことで、自ら発表できない子も自分の考えを途中まででも表現できるようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	全クラスでICTサポーターとの授業を計画し、情報モラルやプログラミング、教科でのICTの活用を行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	タイピング検定に全校で取り組んだことで、3年生のローマ字の理解の助けになった。1・2年生もローマ字への興味を高めた。4年生以上も調べ学習の時間が短縮された。校内研究のテーマとしてICTの活用の仕方について研究授業の度に全体で理解を深める場を設けたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	道徳の授業前に事前にFormsでアンケートを実施することでクラスの実態が把握できた。また、「AIテキストマイニング」で、アンケート結果を可視化することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	深める場面で学習アプリ（Jamboard, Mentimeter）を用いて、児童個々が課題に対する考えを書き表すという共通実践を行った。それによって、児童は、思考を整理したり、端末を話し合いのツールとして用いたりすることができ、より質の高い意見交流や児童の理解につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・chatを用いて、連絡・教材共有などを行っている。リンクをつけるなどできるので、口頭や紙媒体を用いるより、時短・分かりやすく連絡を行うことができる。 ・実践共有を行っている。新たな活用方法や児童の反応を知ることができるので、自分の実践に生かすことができる。
小学校・義務教育学校（前期）	formを使ってアンケートを実施したことによって、集計や結果のフィードバックが容易になったこと。
小学校・義務教育学校（前期）	校内研究授業の整理会で出た意見などをジャムボード上で整理した。それによって各自の端末で全体の考えを見ながら発言することができ、より活発な議論につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	それぞれの教師の授業での取り組みについて共有し合ったこと。（外国語の時間のふり返り、道徳の導入での端末の活かし方等。）
小学校・義務教育学校（前期）	学校研究に関わる児童アンケートをフォームを使って作成した。それを、全校児童・全職員が所属するクラスルームに添付し、毎月解答させるようにした。これにより、集計の時間が大きく短縮されるとともに、集計結果をグラフを用いて、毎月の全校集会で児童に目指す力の達成度を共通確認することができている。
小学校・義務教育学校（前期）	その週に行ったGIGA端末の授業での活用方法をgoogleフォームに入力して蓄積してきたこと。
小学校・義務教育学校（前期）	授業での実践をデータとして共有してあるので、いつでも、だれでもその実践を見ることができる。
小学校・義務教育学校（前期）	実践事例の報告会
小学校・義務教育学校（前期）	各学年に輪番で授業実践を文書にまとめて交流する研修を設定した。その授業実践を行う際には、授業の本時のねらいを達成するために1人1台端末を使用することを意識して行ったため、どうやって学びを深めるかまで考えた実践が多かった。
小学校・義務教育学校（前期）	AIドリルの使用で反復学習の効率がよくなった。採点してくれることで、自分の苦手な箇所の理解につなげることができた。校内研修で学んだことを活用していること。多くの教員が色々な機能を場面に応じて使えるようになってきた。
小学校・義務教育学校（前期）	jamboardで考えを共有しやすくなった。Formsで定着度合いを素早く確認することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	GIGA校内研修推進リーダーによる実技講習会を行った。（数回）それによってリーダーだけでなく他の教職員が授業や授業以外で活用できることにつながった。児童にとってもどの先生の授業でも同じようにタブレットPCを用いることができてきている。
小学校・義務教育学校（前期）	児童用のアンケートをクラスルームを活用してフォームで行った。集計を自動でしてくれるので、業務改善につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	Classroomを活用することで、負担を少なく職員間で実践共有できた。
小学校・義務教育学校（前期）	Googleドライブでファイルのやりとりがスムーズにできるようになり、教材等を共有しやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	校内で基本的なGoogleアプリの使い方について研修を行ったことで、職員がICT機器を活用しようとする意識の高まりにつながり、各教科で活用しようとするようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	クラスルームを通じて課題を出す機会を定期的に設けた。フィードバックを行い、個別指導を行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	連絡帳をスプレッドシートを活用し書いている。それによって、不定期に来る先生に予定を聞き忘れることが無くなった。また、クロームブックを毎日使う意識付けとなった。
小学校・義務教育学校（前期）	2か月に1回ほどのペースで、おすすめの実践を職員室の隣の先生と紹介し合った。そうすることで新たな機能を知ったり、新しいアイデアが生まれたりすることもあり、授業でのICTの活用の幅が広がった。